

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成29年12月7日(2017.12.7)

【公開番号】特開2016-41655(P2016-41655A)

【公開日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2016-019

【出願番号】特願2015-207786(P2015-207786)

【国際特許分類】

C 0 3 C 27/12 (2006.01)

B 3 2 B 17/10 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

C 0 8 L 29/14 (2006.01)

C 0 8 K 5/103 (2006.01)

【 F I 】

C 0 3 C 27/12 D

B 3 2 B 17/10

B 3 2 B 27/00 D

C 0 8 L 29/14

C 0 8 K 5/103

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月25日(2017.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水酸基を有する第 1 のポリビニルアセタール樹脂と可塑剤とを含む第 1 の組成物と、水酸基を有する第 2 のポリビニルアセタール樹脂と可塑剤とを含む第 2 の組成物との混合物であり、

前記第 1 のポリビニルアセタール樹脂の水酸基の含有率が、前記第 2 のポリビニルアセタール樹脂の水酸基の含有率よりも高く、

前記第 2 の組成物の 200 での複素粘度の、前記第 1 の組成物の 200 での複素粘度に対する比が、4.5 未満であるか、又は、前記第 1 のポリビニルアセタール樹脂及び前記第 2 のポリビニルアセタール樹脂がそれぞれ、前記第 2 のポリビニルアセタール樹脂 100 重量部とトリエチレングリコールジ - 2 - エチルヘキサノエート 60 重量部とを混合して得られた第 2 の組成物の 200 での複素粘度の、前記第 1 のポリビニルアセタール樹脂 100 重量部とトリエチレングリコールジ - 2 - エチルヘキサノエート 40 重量部とを混合して得られた第 1 の組成物の 200 での複素粘度に対する比が、4.5 未満になる第 1 のポリビニルアセタール樹脂及び第 2 のポリビニルアセタール樹脂である、合わせガラス用中間膜。

【請求項 2】

前記第 2 の組成物の 200 での複素粘度の、前記第 1 の組成物の 200 での複素粘度に対する比が、4.5 未満であるか、又は、

前記第 1 の組成物に含まれる前記可塑剤がトリエチレングリコールジ - 2 - エチルヘキサノエートであり、前記第 2 の組成物に含まれる前記可塑剤がトリエチレングリコールジ - 2 - エチルヘキサノエートであり、かつ、前記第 1 のポリビニルアセタール樹脂及び前

記第 2 のポリビニルアセタール樹脂がそれぞれ、前記第 2 のポリビニルアセタール樹脂 100 重量部とトリエチレングリコールジ - 2 - エチルヘキサノエート 60 重量部とを混合して得られた第 2 の組成物の 200 での複素粘度の、前記第 1 のポリビニルアセタール樹脂 100 重量部とトリエチレングリコールジ - 2 - エチルヘキサノエート 40 重量部とを混合して得られた第 1 の組成物の 200 での複素粘度に対する比が、4.5 未満になる第 1 のポリビニルアセタール樹脂及び第 2 のポリビニルアセタール樹脂である、請求項 1 に記載の合わせガラス用中間膜。

【請求項 3】

水酸基を有する第 1 のポリビニルアセタール樹脂と、水酸基を有する第 2 のポリビニルアセタール樹脂と、可塑剤とを含み、

前記第 1 のポリビニルアセタール樹脂の水酸基の含有率が、前記第 2 のポリビニルアセタール樹脂の水酸基の含有率よりも高く、

前記第 1 のポリビニルアセタール樹脂及び前記第 2 のポリビニルアセタール樹脂がそれぞれ、前記第 2 のポリビニルアセタール樹脂 100 重量部とトリエチレングリコールジ - 2 - エチルヘキサノエート 60 重量部とを混合して得られた第 2 の組成物の 200 での複素粘度の、前記第 1 のポリビニルアセタール樹脂 100 重量部とトリエチレングリコールジ - 2 - エチルヘキサノエート 40 重量部とを混合して得られた第 1 の組成物の 200 での複素粘度に対する比が、4.5 未満になる第 1 のポリビニルアセタール樹脂及び第 2 のポリビニルアセタール樹脂である、合わせガラス用中間膜。

【請求項 4】

前記第 1 のポリビニルアセタール樹脂の水酸基の含有率が、前記第 2 のポリビニルアセタール樹脂の水酸基の含有率よりも 4 モル % 以上高い、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の合わせガラス用中間膜。

【請求項 5】

前記第 1 の組成物の 200 での複素粘度が 4000 Pa・s 以上である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の合わせガラス用中間膜。

【請求項 6】

前記第 1 のポリビニルアセタール樹脂の水酸基の含有率が 25 モル % 以上であり、

前記第 2 のポリビニルアセタール樹脂の水酸基の含有率が 25 モル % 未満である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の合わせガラス用中間膜。

【請求項 7】

第 1 の合わせガラス部材と、

第 2 の合わせガラス部材と、

請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の合わせガラス用中間膜とを備え、

前記第 1 の合わせガラス部材と前記第 2 の合わせガラス部材との間に、前記中間膜が配置されている、合わせガラス。